

(仮)流域圏懇談会10年史について

‘19.10.24 豊田市矢作川研究所 洲崎燈子

【流域圏懇談会10年史について】

6月22日の事例集交流会で、矢作川懇談会が2020年に創立10周年を迎えるのを受け、事例集作りに携わってきたメンバーが編集委員（浜口、近藤、高橋、洲崎）となって10年史の作成にあたることになった。

8月3日に第1回、9月6日に第2回の編集委員会を行った。第3回は11月7日に開催予定。

●読者対象&目的

- ・流域圏懇談会のメンバーが、この10年のあゆみを共有し、山部会・川部会・海部会相互の理解を深める。（何ができなかったかという振り返りも大事）
- ・このような流域圏の取り組みを始めたいという全国の地域に向けて、分かりやすくポイント（コツ）を発信する。

●構成案

はじめに

第1章 矢作川流域圏懇談会の10年のあゆみ

- ・矢作川流域圏懇談会とは（組織図、矢作川流域図も入れる）
- ・ポイント抜粋年表
- ・山川海部会、10年の振り返り
- ・山川海連携の機会・場（市民部会？ 宿泊企画？）の振り返り ※1
- ・事例集の振り返り（関係図も入れる） ※2

第2章 想いの源流を探る

- ・キーマンヒアリング
- ・座談会（いくつかのテーマ別に実施：創設期、ターニングポイント、事例集など）

第3章 今後に向けて ※3

おわりに

巻末資料

- ・全記録年表